第1回 こども園部会 会議報告

日　時：令和7年1月 28 日（火）　午後7時～8時
場　所：岡谷市役所 202 会議室

〇次　第

1.こども園部会について
2. 認定こども園について
3.川岸学園開校・開園までのスケジュールについて
4.交流活動について

〇部会で確認した内容

1.西部地区4園の園目標、保育園の特色の中で共通する、自然・天竜川・四季の変化、地域・協力的、友達・あいさつなどのキーワードを新しいこども園でも大切にしていきたい。
2.令和9年度以降の開園に向けて、川岸学園設立準備委員会の各部会と同様にデザイン、園生活、総務、地域コミュニティ・保護者会、施設の区分に分けて多くの内容をこども部会でも協議、検討する必要がある。
3.令和6年度に川岸保育園・成田保育園の両園で保育園同士、小学校、地域で行った交流会の内容を確認。

〇部会で出された主な意見

・夏明保育園、つるみね保育園を休園するにあたり令和 5 年度に 4 園で合同の交流会を行った結果、子ども達はすぐに仲良くなり、その後の保育園生活にスムーズに移行することができたので、交流会は非常によかった。
・子ども達の交流会も大事だが、保護者を含めた交流会も実施してもらいたい
・認定こども園の先行事例として市内には、信学会東堀こども園があり、パンフレット一つとっても魅力的な園であることが分かるので、市内・県内の好事例を参考にしながら良いこども園をつくっていきたい。
・市内で公立の認定こども園が初めてできるため、保護者や保育士の中には不安を抱えている人がいるので、説明会や交流会を実施して、保護者たちの不安を少しでも和らげて、スムーズなこども園の移行に努めてもらいたい。

〇次回の部会での検討事項

・こども園の開園時期
・令和 7 年度に検討をする協議内容（交流活動等）の確認について

〇次回の日程について

・調整中

【部会員の意見等】

・川岸保育園と成田保育園の年少組が交流を行った。歩いて双方の保育園に行くには距離があるため、頻繁に交流ができなかった。
・夏明保育園は少人数での保育なので、川岸小学校に入学後、最初は戸惑う子が多いので、入学前に川岸保育園と交流を行ったことで、入学後にスムーズに小学校生活が送ることができたので、交流活動は非常に良い経験になった
・川岸保育園と成田保育園の交流を今後、増やしてほしい。子ども達の交流も大事だが、保護者同士や保護者を含んだ交流を実施してほしい。平日ではなく、休日にスポーツなどの交流イベントだと参加しやすく楽しいと思う。
・つるみね保育園の休園に伴い、つるみね保育園にいた子どもが成田保育園に来たが、成田保育園に来る前に何回か交流をしたことですぐに慣れたので、保護者からも交流保育が重要だった旨の話があった。
・新しい認定こども園は、どういう園になるか分からないし、統合により保護者会組織が変わったり、保護者会の内容も異なることに加え、少人数の成田保育園から人数が多い川岸保育園と統合することになるので、成田保育園の保護者の中には、心配をしている保護者が数人いる。
・信学会東堀こども園のパンフレットを拝見したが、こどもをまんなかにした保育をコンセプトに魅力的なこども園であることが分かるので、新しいこども園も通いたくなるようなコンセプトにして魅力的な園にしていきたい。
・川岸地区の保育園は、山や天竜川など自然に囲まれた地域であるため、自然と関わることを新たな園でも大事にしてほしい。幸いなことに川岸小学校の先生たちも自然を大事にした教育をしているので、川岸の良さを幼保小連携して子ども達に伝わることは素晴らしいことである。
・信学会東堀こども園のパンフレットは、見ているだけでワクワクすることが伝わるので、こういったパンフレットを作っていきたい。
・以前、給食交流を行った。交流する園に歩いて行き、交流をした後に一緒に給食を食べたので、子ども達はとてもいい経験になったと思う。アレルギー対応など大変な部分はあると思うが、非常に良い交流だった。
・信学会東堀こども園ができる前年度に東堀保育園で勤務をしていたが、新しい園に移行するにあたり、心配をする保護者もいたが、東堀保育園の良さを沢山受け継いでいくことを重点に保護者に話をしていたが、新園では運営者も変わったことにより最初の1～2年は慣れない保護者もいた。
・新しいこども園に移行する際は、メリットやワクワクすることを伝えたり、保護者会なども保護者の負担を減らすことなども伝えていくと良いと思う。
・不安を抱える保育士もいる。令和5年度の4園での交流を実施して、子ども達は仲良くなり、スムーズに保育園に通った子が多くいる中、なかなか馴染めずに新しい園で不安を抱えながら通園する子もいた。子ども同士の交流、保護者を加えた交流、保護者等への説明会を随時行いながら、スムーズに新たなこども園での生活をスタートさせたい。